



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

さらなる成長

校長 田山 豊

時折冷たい雨が降り、季節の変化を感じます。新生活のスタートから2ヶ月、子どもたちが毎日元気に登校してくれることをうれしく思います。季節の変わり目は体調を崩しやすくなるため、子どもたちの体調管理を徹底していきたいと思えます。

5月15日に、5年生の管弦楽教室に参加しました。移動のバスの中で児童が、「校長先生席が空いているからこちらにどうぞ。」と声をかけてくれました。鑑賞教室中のマナーもよくみんな音楽を心から楽しんでいました。また、管弦楽教室終了後に会場を後にする際、児童全員で「ありがとうございました。」と大きな声でお礼を言っている姿はとても誇らしかったです。そんなうれしい気持ちで学校に帰ってくると、今度は6年生が、5年生の給食の準備をして、待っていてくれました。向小の子どもたちのすばらしさに感動しました。



管弦楽教室の様子

5月の朝会であるサッカーチームの話をしました。「サッカーが強くなるためにはあいさつができるようになることが大切である。ただあいさつをするのではなく自分で気付いて進んですることが強くなる秘訣である。」ということだそうです。今回の管弦楽教室での出来事は、普段からの担任の指導もあったと思います。しかし、向の子ども達は「自分たちで気が付き、今何をすべきか考えることができる。」と思いました。これからもたくさんの行事が控えています。その行事を通して、子ども達がさらに大きく成長することを楽しみにしています。

さて、6月はさいたま市では「いじめ撲滅強化月間」にあたります。いじめの対応で相談が上がってくるなかで、コミュニケーション力が未熟できちんと相手に気持ちを伝えられず、知らずに相手を傷つけてしまうようなトラブルが増えてきているように感じます。そこで、コミュニケーションで大事になってくるのが言葉のキャッチボールです。実際のキャッチボールでは投げる側が取る側の力量を判断して、取りやすいところに取りやすいボールを投げてあげないと成立しません。急に剛速球や予期していない変化球を投げてしまえば相手にけがをさせてしまいます。言葉もこれと同様です。相手に分かりやすい言葉で直接本人に向かって言わないと伝わりません。これが、相手に分かりにくい言葉や事実と違うことであったり、本人にではなく誰かを中継して伝わったり、またときには、ライン等のSNSのように文字で実際の感情や背景等が伝わらず、言葉だけが独り歩きしてしまい、伝えたい側の意図とは違った伝わり方をしてしまったり、いじめ等のトラブルに発展するケースもあります。学校ではトラブルの防止の意味も含めて、人間関係プログラム等を活用しコミュニケーション能力の向上に努めてまいります。いじめ対策で重要なのは早期発見と早期対応です。教職員一同連携協力をして対応を充実させてまいりますので、引き続き保護者の皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。